

http://www

全国 R・J グレード 部会 情報誌

# かしめ

2012 年 4 月 15 日  
5 号

発行：全国 R・J グレード 部会 連絡会

発行責任者：松枝 建次

事務局 東京鉄構工業協同組合

住所：東京都中央区八丁堀 3 - 9 - 5

電話：03 (5566) 1595 FAX:03(5566)1597 E-mail:jimukyoku@tsfa.jp

第 9 回 総会 特集号

## 第 9 回 総会 が 開催 され ました

3月9日全国R・Jグレード連絡協議会第9回通常総会が東京のアルカディア市ヶ谷で開催されました。総会には東京、千葉、群馬、山梨、静岡、三重、京都、大阪から三十数名の会員が参加し、平成23年事業報告、決算報告を承認し、平成24年活動計画、収支予算案を原案どおり承認されました。

今年は役員任期満了に伴う役員改選の年で会長、副会長、会計幹事がすべて再任されました。



『かしめ』は全国 R・J グレード 連絡 協議 会 の 情 報 誌 で す 。 会 員 と 全 国 の 組 合 事 務 局 に メール 発 信 し て い ま す 。 記 事 の 投 稿 を お 待 ち し て い ま す 。 事 務 局 は 東 京 鉄 構 工 業 協 同 組 合 で す 。

総会で挨拶される  
東京鉄構工業協同組合  
理事長 飯田歳樹氏



[総会]

司会・三田 孝 副会長(京都府)

主催者挨拶

松枝建次 会長(大阪府)

去年3月11日に大阪で第8回総会を開催しましたが、総会開会直前にすごい揺れを感じました。開会を少し遅らせてやりましたが、この総会には被災地の茨城県や北海道の組合からも参加していましたので、地震情報を司会の三田さんがリアルタイムに伝えながら進めたのを思い出しました。被災地が一日も早く復興することをお祈り申し上げます。

昨年12月12日情報誌「かしめ」に掲載しています全構協米森会長と全国R・Jグレード部会の役員5名と懇談を行いました。私はその時に「適正なグレード指定の実現」に向けてお互い協力してやっていきませんか?と言いました。会長からは「全構協は、後経営者育成や社会的地位向上等業界全体のことをやるのでR・JのことはR・Jが頑張ってもらってほしい。」と言われました。

私は2年前に会長をやらせていただきましたが、いつも総会の際に言わせていただいておりますが、名ばかりの集まりではなく常に活動して、常に勉強して行ってほしいとお願いしています。そうすることによって底辺が拡大していくと私は考えています。今日は8県しか参加していませんがぜひとも各県の部会長さんをお願いしますが、意義のある活動を年に2回でも3回でもどんどん進めていってほしいと思います。

景気の方はなかなか良くなり、この様な時は自分の会社のこと目先のことしか考えないのが常ですが、3カ月、4カ月に1回でもいいですから私たちがお世話になっている業界の為にR・Jグレード部会の地位が向上するような活動を行ってほしいと思います。このことをお願いしましてわたしの挨拶といたします。

議長選出 松枝 建次(大阪府)氏を総会議長に選出した。

議長 総会は会則により会員の1/2以上の参加が成立要件です。8会員のうち8会員が参加していますので成立しています。

(議案審議)

第1号議案 平成23年事業報告及び収支報告書承認の件

平成23年事業報 坂爪幸男(東京都)

平成23年決算報告 加藤哲夫(事務局)

平成23年会計監査報告 谷津幸一(群馬県)

審議の結果承認された。

第2号議案 平成24年事業計画及び収支予算決定の件

平成24年事業計画 高橋久武(三重県)

平成24年収支予算 加藤哲夫(事務局)

審議の結果原案通り承認された。

## 第3号議案 役員選任の件(任期2年)

松枝建次(大阪府) 三田 孝(京都府) 土屋真一(山梨県)  
谷津幸一(群馬県) 金谷義昭(東京都) 利根川晴雄(東京都)  
川島幸次(千葉県) 水野勝也(静岡県) 高橋久武(三重県)  
松田浩二(京都府) 杉本 豊(東京都)

以上の幹事が承認された。

幹事の互選により会長1名、副会長2名、会計幹事1名、顧問1名が以下の通り決定した。

会 長 松枝建次(大阪府)  
副 会 長 三田 孝(京都府)  
副 会 長 土屋真一(山梨県)  
会計幹事 谷津幸一(群馬県)

## 新役員紹介

新会長松枝建次(大阪府)より新役員を紹介し、会長として新たな決意を述べた。

議長退席

来賓あいさつ

東京鉄構工業協同組合理事長 飯田歳樹氏

総会無事終了おめでとうございます。我々鉄構業界は散々な目に遭っておりますが、後1年もすれば復興需要が出てくるのではないかと思います。国が復興事業に10年間で23兆円の補助金をつぎ込むことが決まりましたが、この中で我々がお手伝いできることが有るのではないか、我々でしかできないことが有るのではないか、被災地から要請が有れば可能な限りバックアップしていきたいと考えています。

今景気は足踏みしていますが、これから景気は必ず良くなると思われるのでお互い頑張っ  
て行きましょう。松枝会長のもと全国R・J連絡部会がますます発展されることを願って  
います。

[フリーディスカッション]

司会 三田副会長

本来なら各県から報告を頂いているのですが、本日は時間の関係もあり関西と関東の報告をして  
いただき、全国の近況についてはジャーナルの大熊氏から報告していただきます。よろしくお願  
いします。

全国のH、Mはめちゃくちゃな競争をしています。ここでは言えないような価格で受注して  
います。このような状況の中で倒産している企業がバタバタ出てきています。飯田理事長が  
言われた様に最終局面に入っていると思われませんがここはR・Jは引き締めて我々には  
まだまだ先が有ると言うことで頑張っ  
て行きたいと思えます。

R・J以下は結構仕事が出てきています。今こそ単価を少しでも上げていくことが大事  
です。H、MについていけないようにH、Mから仕事を頼まれても安値受注しないように  
して下さい。関西も少しで

すが仕事が増えてきているように感じられます。

関東の報告を杉本さんお願いします。

杉本顧問(東京都)

関東全般のことは判りませんが、  
東京についていえばかなり悪い。今は耐えるしかない。

土屋副会長(山梨県)

私の工場の話ですが、例年2月、3月は掃除で工場がピカピカになるのですが今年は例年とは異なり仕事で埋まりました。単価的な話では、参考になる話ではないかもしれませんが山梨県内の重要文化財の寺の本堂の耐震工事をトン50から60万で受注しました。

R・Jグレードは大きな仕事をやって行くことは大変ですから、この様な仕事をこまめにやって行くことが重要なことかもしれません。

司 会

この様な仕事がどんどん皆さんの手元に来るようになればいいと思います。  
それでは近畿の報告を大阪の山下さんお願いします。

山下(大阪府)

単価の話ですが、見積をするうえで、材料費が有って加工費が有って溶接費が有って、電気代が有って運送費が有って建て方費ある。その上に検査費用が乗ってくる。これをどのように見積金額に反映させて仕事として成り立つようにしていくのか、このことをもっともっと本気でやっていたいかなければならないと最近考えています。具体的にトンいくらでやるとか加工費3万、5万、7万などと言うのではなくこの物件はこのくらいかかる、最終的に価格を決めるのはお客さんですから、日頃のお客さんとの付き合いが大切だと思います。いっぺんに1年分の利益を出すような仕事はこのごろはないので、一つの仕事を終わったら一つのご飯粒を残して行ってそれを続けて年末にはそれを集めて一つのお餅になれば良いと考えこ一、二年は仕事をしています。今後もそうしてやっていたいかなければしかたないのかなと思っています。

司 会

今の山下さんのお話のもっともっと言う言葉これは関西弁ですがいい言葉だと思います。確かにもっともっと昔に帰って、もっともっと頑張るって、もっともっと単価を1千円、2千円上げていくこれは大変いい言葉と思います。私どもももっともっと努力していくことが重要だと思います。

最後にジャーナルの大熊さんから全国的なR・Jの状況について報告していただきます。

大熊(ジャーナル)

鋼構造出版の大熊です。日頃取材で大変お世話になりありがとうございます。S、H、Mよりもこの厳しなかで皆さんは柔軟に頑張っておられると思います。倒産が多い中R以下の倒産は本当に少ない。良いお客さんに恵まれ加工費も20万円を超える単価でやっておられるところもあります。



震災の需要は土木や橋梁、護岸等が中心の復旧関係が動いていて、建築関係は全く動いていません。1年全く手付かずの状態です。これからまちづくりが本格的に動いていけば200万t規模の鉄が動くと言われています。

仕事量は西と東を比べると西は少なく東は多い、首都圏で100万t規模のプロジェクトの需要があるとされています。この仕事の本格的に動いてくるのが、業界全体の回復基調が見込まれる根拠になっています。

ただ、足元を見れば非常に暗い。仕事があっても単価が非常に低いので採算割れを起こしており特にS、H、Mはほとんどが赤字受注の状態です。

## 司会

大熊さんありがとうございました。それではフリーディスカッションを終わります。ありがとうございました。

## [懇親会]

5階大雪東の間 午後5時10分～7時

司会 三田 孝 副会長

来賓あいさつ

池田英敏氏 全構協常任理事

全構協の常任理事の池田です。米森会長の代理でごあいさつさせていただきます。今日は第9回総会が無事終了したことをお喜び申し上げます。日頃全構協の様々な業務に協力いただきまして大変ありがとうございます。私も全構協の執行部に入って2年たちましたが、なかなかマラソンのペースメーカーのよう



挨拶する 池田英敏 全構協常任理事

に皆さんをぐいぐい引っ張っていく力がありません。熟知たる思いが募ってなりません。R・J部会で一生懸命頑張っている方々に申し訳なく思っています。

いま世の中が変わりつつあります。去年も景気が少し良くなり始めたなと思ったら3.11の東日本大震災で一挙に奈落の底に落とされた。

また地政学的な問題が経済界に与える影響は大変大きなものです。最近イスラエルがイランに対しキナ臭い行動が感じられます。実行されればホルムズ海峡の閉鎖とかオイルの価格が一挙に上がる。こんなことが起きればまた景気に打撃を受けることになります。皆さんもこのような情報を常にアンテナを高くして感知して行ってください。

全構協に何ができるかと言われても執行部にそんなに力もありませんので皆さん自立して行って頑張っ

てほしいと思います。

世の中グローバル化しています。海外の出来事がすぐ日本の経済に影響を与えます。仕事に関してもこのことを十分に踏まえて行ってほしい。

経営者はいろいろ勉強し、またプラス思考で行動してほしい。ボトムアップとトップダウンがかみ合ったところが生き残るといわれています。技術、技能、経営の優れた会社が生き残っていくことができる。どうか日々の皆さん努力を惜しまないでいただきたい。天は嘘をつきませんので何れは皆さんに温かい仕事があることを希望しています。

全国R・J部会がますます発展することを祈念してあいさついたします。

司 会

池田上任理事大変ありがとうございました。それでは乾杯を土屋副会長お願いします。

土屋副会長

皆様本日はご苦勞様でした。わたくしは杯を持って長い時間待たされるのは嫌いなので簡単にやります。それで今日参加のみなさんのご健勝とご発展を祈念して乾杯をします。乾杯

司 会

ありがとうございました。それでは時間は十分ありますので懇談してください。

懇親会は中締め後7時半に終了しました。

#### 編証後記

第9回総会が無事終わりました。遠路より参加の皆さん大変ご苦勞様でした。

全国R・Jグレード部会の会員は残念ながら発足当時より減少しています。全国の冠を掲げていますが残念ながら現在8会員です。しかし、参加した会員は悲観していません。

全構協の下位グレードの会員は、「全構協はHグレード主導の組織である。」と認識しています。実際その傾向は否定できません。昨年暮れに全構協の米森会長と懇談をしましたが(かしめ第4号参照)米森会長は、全構協の中にグレード別全国組織を設けることは「屋上屋である。」と発言しています。

本当にそうでしょうか。確かにR・Jグレードの会員のマーケットはそれぞれの地域です。Hグレードのように日本全国をマーケットとしていません。地元密着型であり地域社会のニーズに応え地域社会に貢献しています。そのことにより現在のような最悪な景気でもR・Jグレードの会員の仕事はなくなるのではないのです。

フリーディスカッションの中で山梨の土屋副会長が発言していますように地元の重要文化財の寺社の耐震補強工事の単価は、50万~60万/トンで鉄工所として持続可能な単価であった様です。

大阪の山下さんは「価格は最終的にはお客さんが決めるもの、ひとつの仕事が終わったら、ひと粒のご飯を残し、それを続けていって暮れになってひとつのおもちになれば良い。」哲学者のような発言です。大変感銘を受けました。全国R・Jグレードの組織がもっと拡大し、それぞれ地域の経験を持ちより交流が出来たら素晴らしいと思います。それが全構協全体の底上げにつながって行くことになるのです。

事務局 加藤哲夫